

第39回福岡県吹奏楽コンクール 福工大ニュース

NO.7(2023.8.1発行)

金賞



7月9日(土)第39回福岡県吹奏楽コンクールが、北九州ソレイユ(北九州市小倉北区)にて開催された。

本コンクールは、9月2日に行われる九州吹奏楽コンクールの予選という位置づけである。

大学の部では、9大学が演奏し、本学は金賞を受賞し、九州吹奏楽コンクールへの推薦を獲得した。

他に九州吹奏楽コンクールに推薦された大学は、日本経済大学、西南学院大学、福岡教育大学であった。

井上将雅主将コメント

先日行われました第39回福岡県吹奏楽コンクールにて福岡工業大学吹奏楽団は、金賞を受賞し、九州大会への切符を手にすることができました。私達が不自由なく活動できるのは、顧問の先生方をはじめ、学生課の方や保護者の方々等のご助力あつての事と存じます。その事に感謝し、全国大会金賞に向け、日々精進して参ります。

県大会では、課題曲「天野正道さん作曲「レトロ」と自由曲のC.T.スミス作曲「レイ・ブルジョワ」の讚美歌による変奏曲」の2曲を演奏しました。課題曲「レトロ」は、曲名にもある通りレトロチックな曲調で、躍動感ある部分やムーディーな雰囲気演奏する場面があります。私達大学生が知らない「昭和」の雰囲気を出すためにどうしたら良いか、また全体的に明るい曲なので聴いている方が楽しく聴けるよう演奏するか模索しながら演奏しました。自由曲の「レイ・ブルジョワ」の讚美歌による変奏曲「レトロ」とは対照的に、高い演奏技術が求められ、曲の序盤では讚美歌の様に聴いている人がうっとりするような壮大で美しい場面があります。私たちは実際に讚美歌を聴き、その美しさを楽器で表現するにはどうしたら良いか考えながら演奏しました。曲の終盤には、金管楽器が煌びやかに吹く場面があり楽器を吹くパワーが必要となりますので2年前から始めた、日々の筋トレに更に力を入れ、体づくりや楽器を上手に響かせる練習を徹底して行いました。

9月2日に開催される九州大会に向けて、県大会の反省を生かし、学生指揮を中心に各楽器のパートリーダーと会議を行い、初心に返りもう一度基礎の部分から見直し、更なるレベルアップに向けて練習を積み重ねて参ります。

松井先生に聞く

全国大会で金賞を！という目標を掲げ、今年度のサウンド作りからコンクールに向けての練習がスタートしました。我が楽団は人数が少ないため、新1年生も全員レギュラーとして活動していきます。頼もしいことに今年の新1年生は1日も早く先輩たちの音に馴染むようにと、とても積極的にトレーニングや練習に参加してくれています。

7月8日、福岡県吹奏楽コンクール当日は、最初の大会ということもあり、緊張で少し硬さがありました。今までの練習の成果をしっかりと発揮して演奏してくれました。今年のメンバーは、上級生も含め練習に真面目に取り組む学生が多いのはとても良いことなのですが、音楽表現も真面目すぎて硬くなるところがあり、そこが今後の課題です。一人一人の演奏技術や表現力のレベルアップを図りながら、さらに魅力的な表現ができるよう、研鑽を積んでいきたいと思えます。



表彰式のあとの集合社員 金賞受賞を喜ぶ楽団員の姿